

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 筏井 哲治

- I 開催年月日 令和 5 年 12 月 14 日（木）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 58 分
- III 出席委員等〔出席委員〕○梅島 清香 山上 尊士 林 貴文
藪中 一夫 坂林 永喜 曾田 康司
狩野 安郎
（筏井委員長、石須委員は入院加療のため欠席）
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 本田 利麻
〔副議長〕 横田 誠二
〔説明員〕 別紙名簿のとおり（藪下病院長は公務のため欠席）
〔委員外議員〕 田中 勝文
〔事務局職員〕 笹島 永吉 高嶋 史恵 二口 崇
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 78 号 令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 4 号）のうち本委員会所管分
議案第 79 号 令和 5 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 81 号 令和 5 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 3 号）
議案第 82 号 令和 5 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 83 号 令和 5 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 2 号）

及び

- 議案第 89 号 高岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

以上、予算議案 5 件及び条例議案 1 件の計 6 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 78 号のうち、戸籍事務費について】

- カタカナ表記をするためのシステム改修を行うことになった背景は。
- △ 新型コロナウイルス感染症対策の経験により、社会における抜本的なデジタル化の必要性が顕在化している。デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードの利便性向上のため、令和 5 年 6 月に「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」等の一部改正が行われ、戸籍等の記載事項への氏名の振り仮名の追加が規定されたところである。現状において、行政機関の保有する氏名の情報の多くは漢字であり、とりわけ常用漢字でないものが使用されている場合には、データの登録が複雑で、その検索や特定に時間を要している。振り仮名の追加については、行政のデジタル化の推進のために、氏名の振り仮名を一意のものに特定し、公証する必要があるという観点で実施されるものである。
- システム改修に係る財源は。
- △ 国の社会保障・税番号制度システム整備補助金であり、補助率は 10 分の 10 である。

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

- ・プラスチック一括回収に係る再商品化計画の認定について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【プラスチック一括回収に係る再商品化計画の認定について】

- 3 点質問させていただきたい。1 点目は、再商品化計画における再商品化事業者が決まった経緯は。2 点目は、収集や中間処理を行う業者は複数確保しておいた方がよいのではないかと考えるが、見解は。3 点目は、この計画を進めることによる費用対効果の見込みは。
また、令和 6 年 10 月からプラスチック容器と高分子系ごみを分別しなくてもよくなるということだが、これまで分別に一生懸命取り組んできた方もおられるため、分別が不要になることに関して説明をしっかり行わないとがっかりされる方もいると思う。なぜそうなったのかということをご丁寧に説明していただきたい。（要望）
- △ プラスチック一括回収は 6 年 10 月からの実施ということで、他市より周知期間を長く確保しているため、その間に説明会等を開催しながら、プラスチック一括回収の意義等も含めて周知啓発していきたい。
- △ 1 点目の質問について、国内でプラスチックの再商品化できる企業は 5 社未満であり、このうち本市に最も近隣にある事業者が選定業者である株式会社富山環境整備である。4 年度に再商品化計画の認定を受けた仙台市、安城市、横須賀市のうち、安城市が株式会社富山環境整備と連携している。また、本市がピンクの袋で収集し

ていたプラスチック容器のリサイクルを同社が行っていたという実績もあり、これらを踏まえ、株式会社富山環境整備を再商品化事業者として選定することに決定した。2点目の質問について、現在、高分子系ごみは株式会社高岡市衛生公社、プラスチック容器は株式会社ヒヨシで対応しているが、一括回収に合わせて1社にしてしまうより、ルートは複数あった方がリスク回避につながると考えている。詳細はまだ検討中であるが、ごみ収集ではコースを5つに分けて、複数の事業者にまわってもらっているため、これと同じように地区割を行うことなども検討したい。また、今まで分別していたのになぜ一括にするのか、という住民の声は既に市の方に届いている。これまでの分別では、プラスチック容器は製品にリサイクルしていたが、高分子系ごみは、サーマルリサイクルによりエネルギーとして再利用していた。一括回収に切り替わった後は、サーマルリサイクルが減り、高分子系ごみの一部も製品にリサイクルされるようになる。また、分別が分からずに燃やせるごみに一定量入っていたものが、資源化にまわってくることにも期待している。こうしたことも含めてしっかりと説明していきたい。

△ 3点目の質問について、事業の目的が資源循環、地球温暖化対策ということもあり、費用対効果では捉えきれない部分がある。ただ、一括して収集することになること、またその後の手作業による分別の機械化が図られるということを踏まえると、経費が浮くというところまではいかないかもしれないが、概ね同じくらいになるのではないかと見込んでいる。現行と同程度の費用で、さらなる環境対策が図られるという点で評価をしている。

○ 費用対効果については、やってみないと分からないということもあると思う。状況を見て議会の方にも報告いただきたい。(要望)

[消防本部]

。歳末消防特別警戒・消防出初式・消防艇出初式について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

次回の本委員会の開催について

令和6年2月1日(木)午後1時に開催することが報告された。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[消防本部]

- 。消防艇の共同運航に関する準備委員会の+結果報告について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【消防艇の共同運航に関する準備委員会 結果報告について】

- 共同運航前と共同運航後で本市の費用負担はどれくらい変わるのか。
- △ 令和6年6月から消防艇の基本設計を行う予定としており、その際に装備や仕様を検討することとしているため、現時点で確実な費用をお示しすることはできない。
- 共同運航は大変良いことだと思うので、ぜひ進めていていただきたい。(要望)
建造費について、現時点でははっきり言えないということではあるが、議会としてもどれくらいの費用がかかるかを把握しておかなければならない。例えば、他市の事例を参考に、どれくらいの金額を見込んでおけばよいか、分かる範囲で教えていただきたい。
- △ 準備委員会では19トン級の小型船舶の導入を検討しているが、同じ19トンの船舶を導入した他市の状況を踏まえると、建造費として約4億円がかかる。この建造費に対して各市の標準財政規模の割合で按分することを予定している。なお、本市の割合は、23.6%である。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（28 名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院長	藪 下 和 久
生活環境文化部次長	須 田 稔 彦	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
市民生活課長	松 本 武 司	総務課長	上 森 智 美
環境政策課長	室 谷 智	医事課長	島 田 輝
共創まちづくり課長	大 野 洋 靖		
共創まちづくり課 多文化共生室長	車 忠 宏	消防長	浦 島 章 浩
男女平等・共同参画課長	寺 口 昌 代	消防本部次長	山 口 喜 代 治
市民課長	徳 市 直 之	消防本部次長 総務課長	有 澤 智 文
文化振興課長	寺 井 知 恵	消防本部参事 予防課長	奈良岡 由多可
		警防課長	神 谷 勝 也
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	通信指令課長	礪 波 鉄 夫
福祉保健部次長	山 本 真 弘		
福祉保健部参事	長 田 由 美 子		
社会福祉課長	中 保 哲 憲		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	野 村 岳 人		
高齢介護課長	関 原 総 臣		
保険年金課長	芹 山 奈 緒 樹		
健康増進課長	赤 阪 典 子		